

文化財の保存・活用と世界へのプロモーションについて

【担当省庁】文化庁・国土交通省

明日香村における取組

(現状・課題)

①世界遺産「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」登録の推進

- ・ 明日香村の飛鳥宮跡などの文化財は、東アジアとの交流を通じ、中央集権国家の形成過程を示す資産。
- ・ 本村では、平成27年に認定された日本遺産「日本国創世のとき～飛鳥を翔た女性たち～」等により魅力発信に努めてきたところ。
- ・ 「飛鳥・藤原」が世界文化遺産に登録されることにより、世界から注目され、住民が誇りに思うことで、構成資産を次代に引き継ぐことができることを期待。
- ・ 世界遺産登録に向け、**関係機関が一体となった取組が不可欠。**

「世界遺産登録に向けたこれまでの経緯」

平成19年 「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」暫定リストに記載  
 令和2年3月 推薦書素案を文化庁に提出  
 令和3年3月 推薦書素案を文化庁に再提出  
 令和4年6月 推薦書素案を文化庁に再提出  
**令和6年4月 推薦書素案を文化庁に再提出**

②「国宝高松塚古墳壁画」保存管理公開活用施設の早期供用の開始

- ・ 文化庁において令和3年度に基本構想、令和5年度に基本計画が策定され、**令和11年度までの供用開始**に向け取組をいただいているところ。
- ・ 国宝高松塚古墳壁画保存公開施設の設置が検討されている、国営飛鳥歴史公園高松塚周辺地区では、国土交通省により**令和5年度に高松塚周辺地区再整備基本方針を作成**いただいたところ。
- ・ 東アジアとの交流による国家形成過程や歴史的風土の保全と創造的活用に向けた機運醸成の取組を理解できる「明日香まるごと博物館」の**ゲートウェイ機能**として、**省庁が連携した一体的な文化観光に貢献できる施設**としての整備を期待。

③文化財の保存・活用を通じた文化観光のさらなる推進

- ・ 「明日香まるごと博物館」の取組により、村内に点在する文化遺産の保護と活用、歴史・文化の理解を深める機会の充実、国内外からの来訪者誘致の促進を展開。
- ・ 我が国最後の飛鳥時代の天皇陵として、精緻な横口式石槨を有する**中尾山古墳の保存・活用に向けた基本設計を実施中。**
- ・ 来訪者だけでなく、地域住民にも、明日香村の自然や文化、歴史遺産等の知識が「伝わる」取組として、**プロガイドの養成**や、飛鳥時代の幻の芸能を再現する**「伎楽プロジェクト」**を推進。

【明日香まるごと博物館のイメージ】

- ・ 屋根のない博物館で、歴史文化、自然、営みを体感
- ・ 明日香の潜在価値を村民・来訪者が引き出し、博物館の魅力を創出
- ・ 何度も来たくなる、新たな魅力の発見、人と人との交流、参加型で作る博物館



ガイド養成風景



伎楽の復元想像図

【関係市町村】橿原市、桜井市、高取町

国にお願いすること

本村における文化財の保存・活用と国内外への価値の発信は、我が国の国家形成の中心的地域であった飛鳥地域の重要性を鑑み、国家的見地から推進をお願いしたい。

- ① 「飛鳥・藤原の宮跡とその関連資産群」の**令和8年世界遺産登録推進**
- ② 国宝高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設と国営飛鳥歴史公園高松塚周辺地区が**一体となった整備の推進と早期供用開始**
- ③ 文化観光の推進や遺跡整備・活用のための**予算確保**と、飛鳥宮跡等の史跡指定・公有化及び史跡整備計画の促進等、文化財の保存・活用を通じた**文化観光のさらなる推進に対する支援**

【担当部署】 明日香村文化財課、明日香村総合政策課